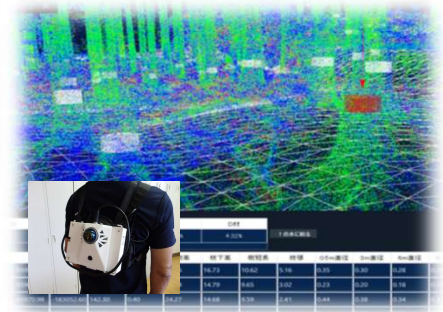


New Forestry of YAMAGUCHI



— 山口の新しい林業 —



目次

- やまぐちの森林・林業の現状 1

- New Forestry of YAMAGUCHI 推進の3つの柱 2
 - 本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成 3
 - ① 林業の新たな担い手確保強化事業
 - ② やまぐち森林・林業未来維新カレッジ推進事業

 - 事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現 5
 - ① 「やまぐちフォレストJV」構築支援事業
 - ② やまぐちの林業DX推進事業【AI】

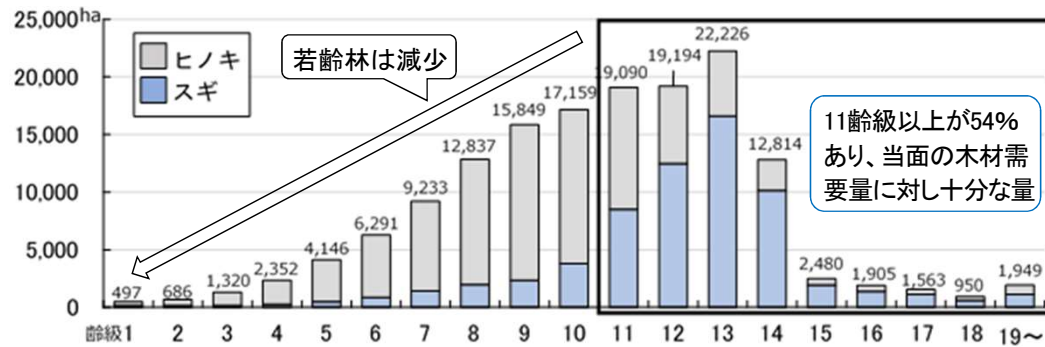
 - “情報”と“資源”の活用による多様なマッチングの促進 7
 - ① 森林経営管理推進総合対策事業
 - ② 森林Jクレジット活用推進事業

やまぐちの森林・林業の現状

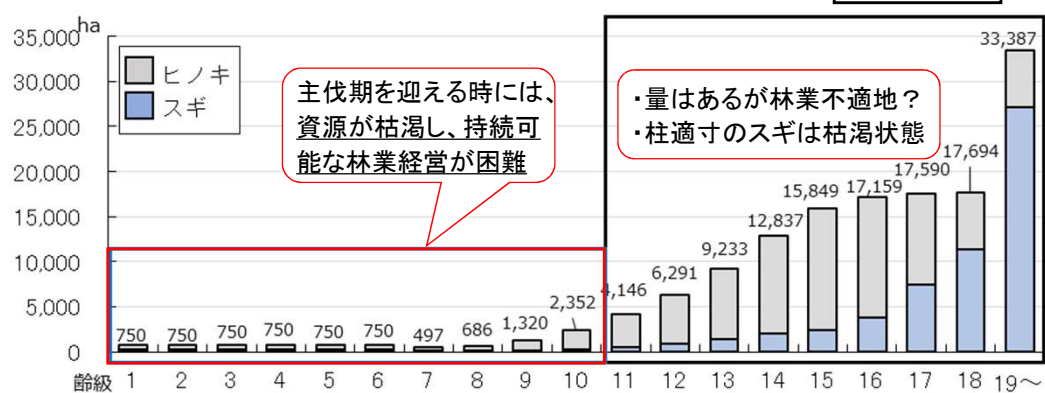
～3つの危機からの脱却～

1 森林資源の危機

現状（令和4年度末）

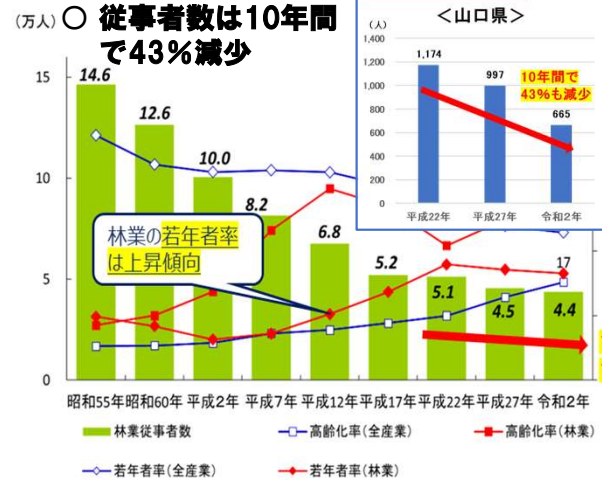


直近5年平均の造林面積(150ha/年)で推移した場合の30年後の姿

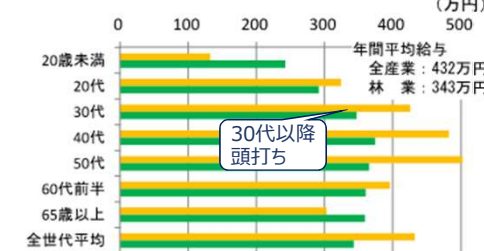


2 林業事業体の危機

従事者数は10年間で43%減少



平均給与は約340万円



災害発生率は全産業の約10倍

死傷年千人率 (令和4年)	
全産業	2.3
林業	23.5
木材・木製品製造業	12.3

資料：厚生労働省「業種別死傷年千人率」
注：死傷年千人率とは、労働者1000人あたり1年間に発生する労働災害による死傷者数（休業4日以上）を示したもの。

※林野庁業務資料を一部加工

3 林業経営の危機

現在の林業



・主伐から再造林、保育まで(50年)の経営収支は△34万円

・森林所有者の再造林意欲は低下

※林野庁業務資料を一部加工

「山口の新しい林業」に向けて

◇ 本県森林資源の継続的な活用と、森林経営にかかわる者の収益向上が両立できる持続的な林業を目指す、「山口の新しい林業」に向けた取組を推進する。

New Forestry of YAMAGUCHI 推進の3つの柱

1 本県林業の未来を切り拓く人材・事業者の確保・育成

- ◇移住就業の促進や新たな研修体系の構築
- ◇林業への新規参入・起業等による林業従事者の裾野の拡大
- ◇中小・零細規模事業者の経営展開・事業拡大の後押し

林業労働力の確保
経営力の強化

2 事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

- ◇主伐と再造林の一貫作業と収益向上を目指す経営モデルの推進
- ◇デジタル技術を活用した作業システムの高度化
- ◇所得向上や労働安全対策強化等の労働環境の改善・向上

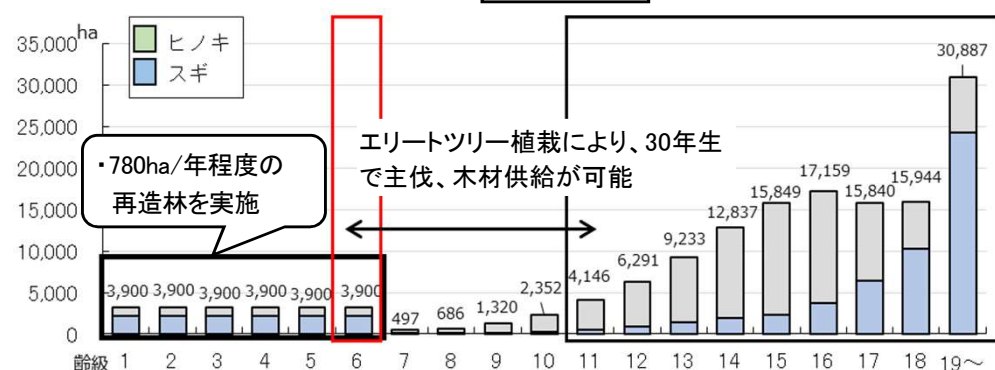
構造的収益の拡大
再造林の促進

3 “情報”と“資源”の活用による多様な森林経営の促進

- ◇森林資源情報のオープン化と関係者間の森林経営マッチングの促進
- ◇森林経営の付加価値化による企業等第三者による森林整備への参入

施業面積の拡大
多主体の参入促進

再造林の取組を加速化した場合の30年後の姿



本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成

①林業の新たな担い手確保強化事業

【ポイント！】 無料職業紹介所の機能強化に取り組むとともに、担い手確保・支援センターを設置し、事業規模拡大支援や副業等人材シェアリングによる多様な働き手の参画を促進

● 無料職業紹介事業の強化（担い手財団）

- **本県林業専用Webサイトの開設**
林業事業体の情報や県・市町の支援メニュー等を一元的に発信
- **林業版ハローワーク事業の実施**
新卒、中途、移住就業者と事業体とのマッチング
- **キャリアカウンセラー派遣等による相談体制の整備**
新採、若年労働者へのキャリア形成支援〔離職防止〕

● 就業者の定着対策

- **本県独自の給付制度の活用促進**
〔就業希望者に対する支援〕
即戦力短期育成塾受講生への給付金の支給
(125千円/月×5か月)
〔新規就業者雇用法定法人への支援〕
就業者のOJT研修に対する県独自の支援
(480千円/年×3か年) ※国と併せ1,200千円/年
- **林業労働災害の未然防止対策の実施**
現場の巡回指導や振動障害予防講習会等

● 担い手確保・育成対策の強化

- **林業担い手確保・育成支援センターの設置**
〔支援員の配置〕
 - ・ 小規模事業体や森林所有者等の事業拡大の支援
 - ・ 副業等による多様な働き手の林業参画の促進
 - ・ 相談対応やカレッジと連携した技術支援等〔測量機器、補助金申請書作成システムの整備〕
 - ・ 容易に測量可能なGNSS機器の設置
 - ・ 測量データから図面を自動的に作成するなど、助金申請書を簡単に作成できるシステムの構築



本県林業の未来を切り拓く人材・事業体の確保・育成

②やまぐち森林・林業未来維新カレッジ推進事業

【ポイント！】 農林業の知と技の拠点を核とした新たな研修体系「やまぐち森林・林業未来維新カレッジ」を構築し、本県林業の未来を切り拓く人材と林業事業体の確保・育成を促進

- 就業者や事業体の成長段階に応じた研修体系
- 労働安全対策と林業事業体の経営力の強化
- 多様な事業者や労働力の確保
- 林業普及指導員（県・市職員）の資質向上対策

- ⇒ 6コース49講座
- ⇒ 義務受講制度の創設
- ⇒ トライコース、起業等コース
- ⇒ 技術・経営、税・保険、企画・指導力等

● トライコース《オープンカレッジ、森の学校等》

○ 多様な人材の掘り起こし

オープンカレッジや、小中学生対象の森の学校、高校生や教師を対象とした林業体験等

● 即戦力人材育成コース《即戦力短期育成塾等》

○ 基本技術の習得

就業希望者等を対象とした「即戦力短期育成塾」や、ステップアップを後押しする6種のオプションメニューの創設

● プロフェッショナルコース《先進事業体への留職等》

○ 高度な専門技術や安全技能の習得

14の林業機械操作等の技能講習に加え、新たに高度な伐木技能講習や先進事業体への一定期間の留職等の実施

● 次世代人材コース《データサイエンティスト育成研修等》

○ 次世代リーダーの育成

企業間連携促進のための合宿研修、デジタルツールやデータの活用技術習得を目指す研修等

● 経営力向上コース《経営戦略向上研修等》

○ 林業事業体のさらなる経営力向上

経営戦略の策定や安全対策、人材の確保育成、働きやすい職場作りの促進、事業承継への対応等
☆講師に中小企業診断士等の経営支援のプロを招へい

● 起業・副業・リスクリングコース《異業種参入促進研修等》

○ 人材シェアリング等による新たな労働力の確保

異業種の第二創業や農業就業者の副業等による新規参入、個人事業者の新技术習得による事業規模拡大等を支援

事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

①やまぐちフォレストJV構築支援事業

【ポイント！】複数の事業体の連携・協働により、主伐から再造林までの一貫作業化や森林資源の有効活用の拡大により**構造的な収益向上**を目指す、**新たな林業経営モデル「やまぐちフォレストJV」**の構築を支援し、林業振興を正面から推進

● フォレストJV推進協議会及び地域協議会の設置

〔フォレストJV推進協議会（県）、地域協議会の設置（6事務所）〕

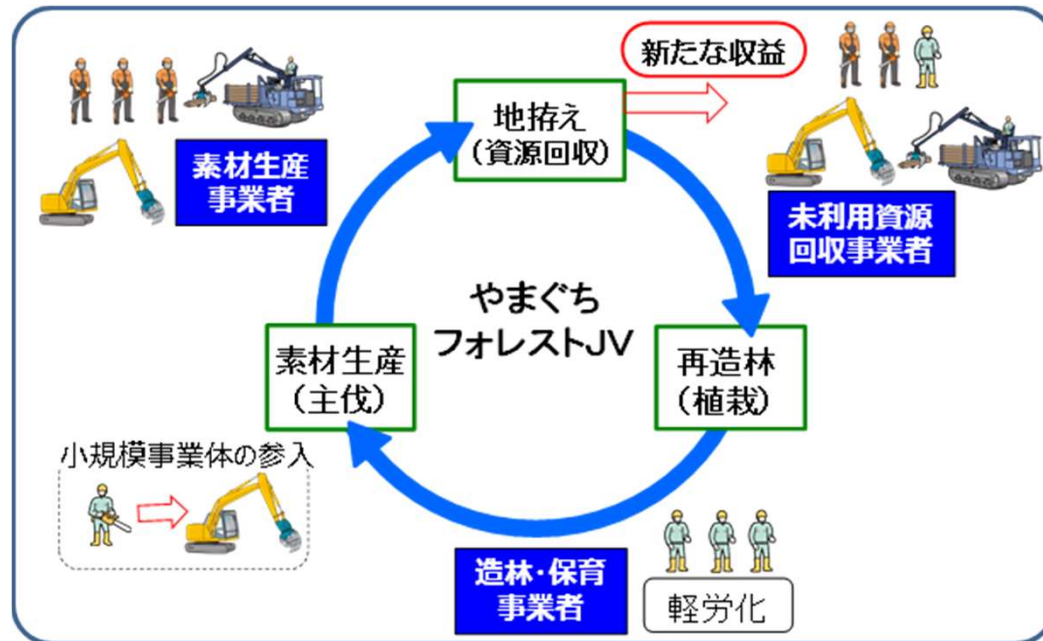
- ・連携に向けた相互理解の醸成や関係知識・集団技術向上研修
- ・各地域の実情に応じたJV組成や技術指導等の伴走支援
- ・先進地視察、各地域での取組の成果・課題の共有

● 地域協議会による構築支援

《専門技術を有するコーディネーター等の活用》

- ・施業計画や段取り、人・機械の配置や融通手法等の指導
- ・共同作業に向けた実践（技術デモ）

新たな林業経営モデル



林業振興

- ・収益向上と森林所有者への利益還元
- ・計画的な事業地の確保
- ・雇用拡大

森林資源の確保

- ・森林サイクルの好循環
- ・林業の持続性の確保
- ・CO₂吸収源対策への貢献

構造的な収益向上

事業連携の促進を通じた「成長型林業」の実現

②やまぐちの林業DX推進事業【A I】

【ポイント】 A I 技術を活用し、**施業計画作成の超効率化**や**最適な雇用・機械導入計画の提案**等により、**林業事業体の経営戦略の推進**を支援し、**施業面積・木材供給量を拡大**

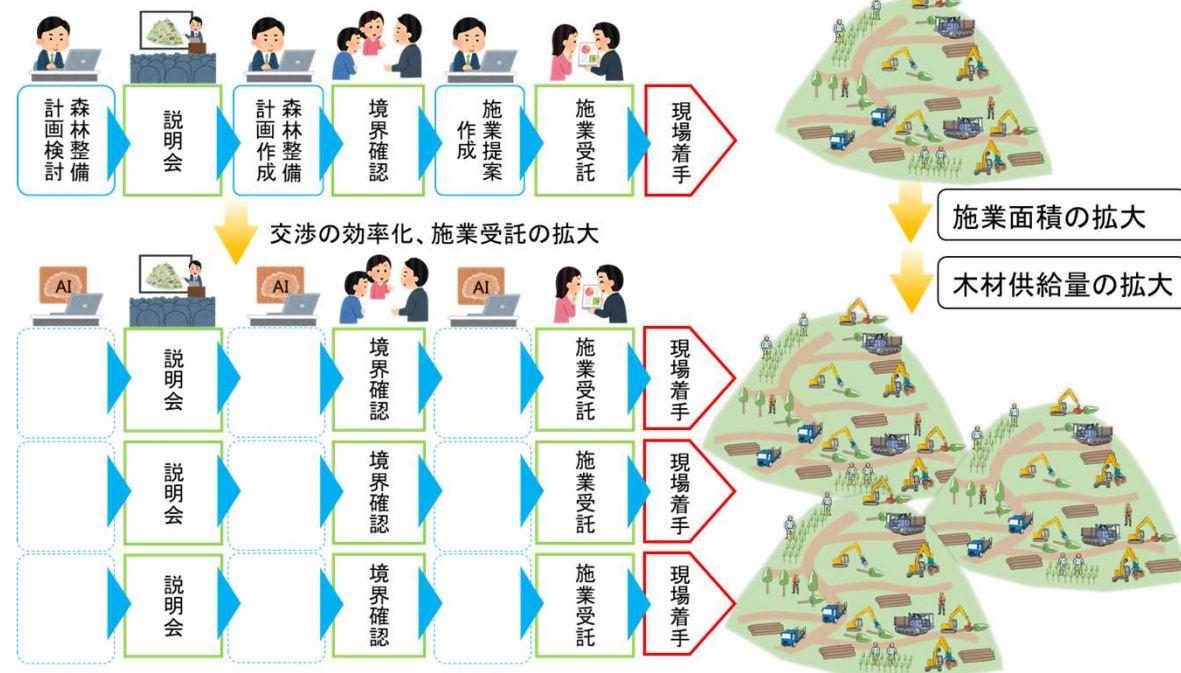
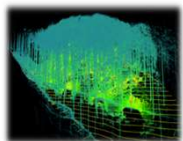
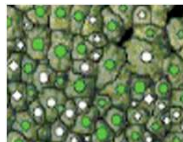
● A I システムの開発（基本設計）

- ・ 研究機関や民間企業等を構成員とする林業DX推進協議会の設置
- ・ システムの要件定義、基本設計の実施

新システムのポイント

- ・ 施業計画作成の自動化 → 交渉の効率化、施業地の拡大
- ・ 施業地の生育シミュレーション → 森林資産価値の可視化、森林経営への誘導
- ・ 中長期雇用計画の作成 → 人材の計画的な採用・育成
- ・ 機械導入計画作成 → 最適な設備投資

レーザ計測等のデジタルデータ



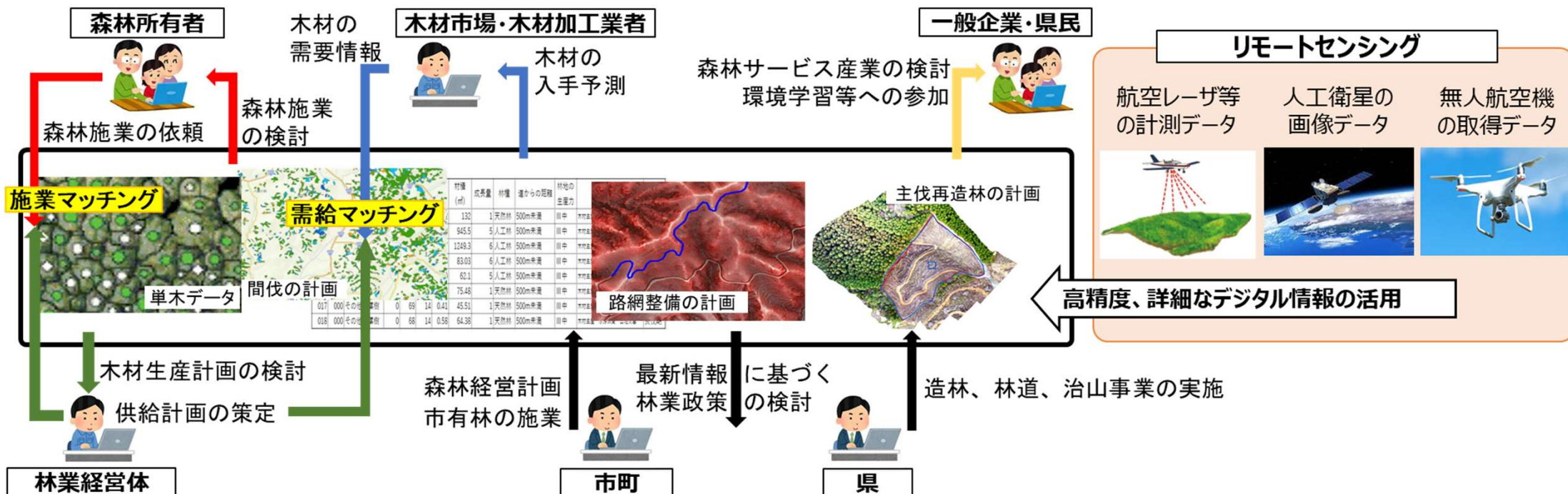
“情報”と“資源”の活用による多様なマッチングの促進

①森林経営管理推進総合対策事業

【ポイント】 航空レーザ計測等の高精度ビッグデータの高度利用により、**林業事業者－森林所有者、林業事業者－木材事業者間の需給マッチング**等を促進

● システムの検討〔基本設計〕

- ・ システム構想の策定や調査、基本設計



“情報”と“資源”の活用による多様なマッチングの促進

②森林Jクレジット活用推進事業

【ポイント】森林Jクレジット等創出支援補助金を創設し、モデル事例を創出するとともに、普及啓発活動に取り組み、Jクレジット制度を活用した適切な森林整備とCO2吸収源対策を推進

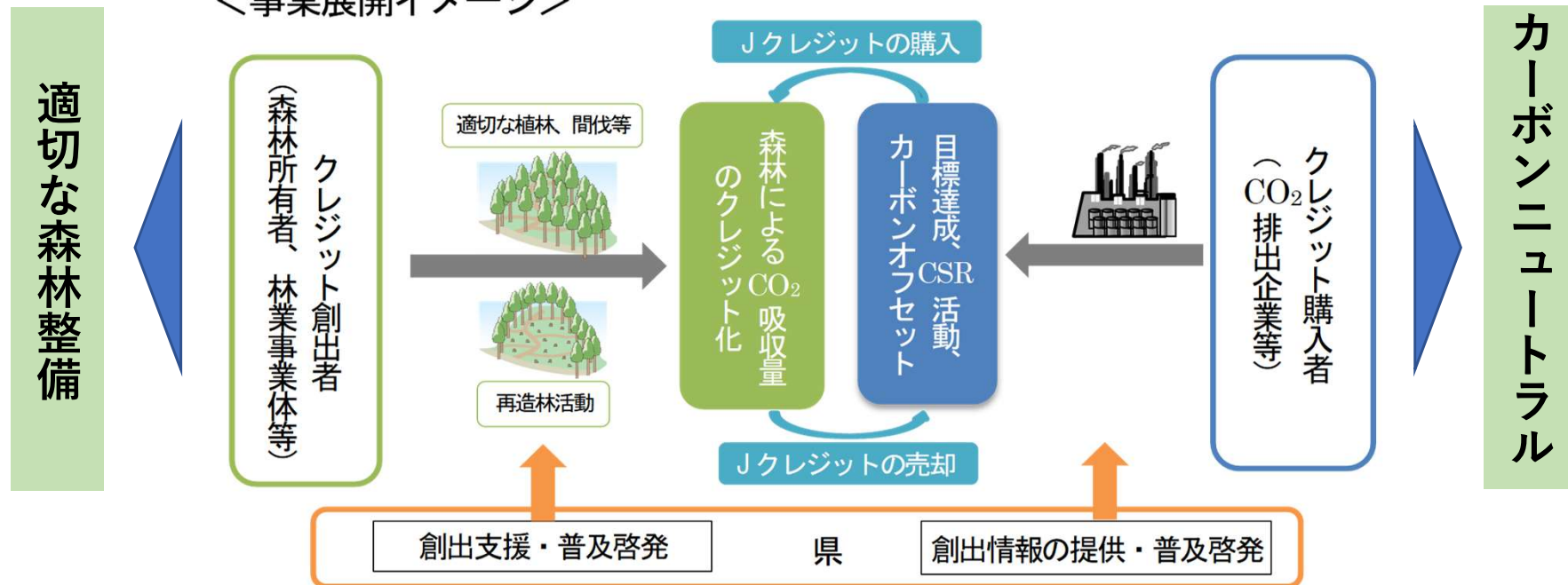
● 森林Jクレジット等創出支援補助金の創設

- プロジェクト計画書の作成支援
計画書の作成のために必要な事前調査や書類作成等に対する補助
[補助額] 森林経営活動：4,000円/ha、再造林活動：59,000円/ha [補助率] 1/2
- クレジット創出量の算定支援
クレジット創出量を算定するための森林資源調査に対する補助
[補助額] 航空レーザ計測：1,100円/ha、地上計測：28,000円/箇所 [補助率] 1/2

● 県域への普及啓発

- 森林Jクレジットセミナー
【創出者向け】
森林所有者、森林組合等
【購入者向け】
企業等

<事業展開イメージ>



New Forestry of YAMAGUCHI の推進

— 再造林なくして、森林・林業の継続なし —